

第23次調査の概要

どこを（調査場所）



赤線は平成23(2011)年3月8日に国指定された範囲

いつ（調査期間）

平成19(2007)年6月25日～7月19日

だれが（調査した人）

赤坂遺跡調査団

調査概要

所在地
調査面積
調査原因
主な遺構
主な遺物
特記事項

神奈川県三浦市初声町三戸字ハタ251番18外3筆
730㎡

宅地造成工事に伴う調査

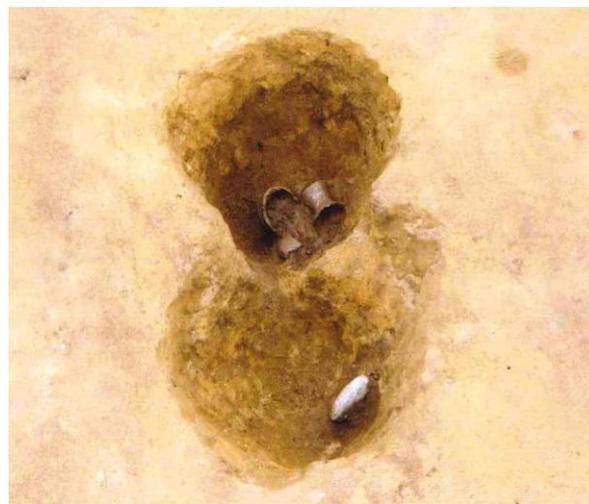
住居址4軒 ピット56基

甕形土器片・壺形土器片・小壺形土器完形

1号住居址は、久ヶ原期の輪積痕をもつ甕の口縁部が出土しているが、2号住居址と3号住居址は時期のわかる土器の出土もないが、1号住居址との重複関係で2号住居址は1号住居址他の住居址より古い時期と言える。また、6m前後の規模を有すると推測される住居址も検出されている。一つの柱穴から底部が欠けた壺が出土しており、その特徴は宮ノ台期でもやや新しい時期のものであるから住居址は同時期に相当する。（参考文献：『神奈川県三浦市赤坂遺跡発掘調査概報 宅地造成工事に伴う第23次調査・2008年1月』）



遺跡発掘調査の風景、1号住居址（手前）と2・3号住居址を調査している様子。（出典：『神奈川県三浦市赤坂遺跡発掘調査概報 宅地造成工事に伴う第23次調査・2008年1月』）



発掘調査区中央部の柱穴の中より土器及び石器が検出された様子。（出典：『神奈川県三浦市赤坂遺跡発掘調査概報 宅地造成工事に伴う第23次調査・2008年1月』）